

# 第2回 政経塾資料

## 産業振興計画の読み方について



令和元年10月19日

依光晃一郎



パンフレット 56MB

# PR版パンフレットの構成

## 高知県産業振興計画とは

### 1 人口減少の負のスパイラルに陥った高知県経済（計画策定の背景）

p3 ~ 4

#### ■ 全国に先駆けて人口減少・高齢化社会に突入した高知県

- ・ 全国より15年先行して平成2年から人口が自然減に
- ・ 高齢化がさらに進行し、特に中山間地域の過疎化が進む
- ・ 働き手となる生産年齢人口の減少も加速

#### ■ 人口減少の負のスパイラルのダメージが県経済の様々な面に表れる

- ・ 平成9年～19年にかけて県内市場はほとんど縮小（年間商品販売額が10年間で2割減少。これは生産年齢人口の減少以上の落ち込み）
- ・ 平成14年～20年頃に於いて全国の景気回復の波に乗れず、有効求人倍率などは全国平均等に大きく引き離される状況が続く

### 2 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた高知県の取り組み

p5 ~ 6

#### ■ 高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略における4つ（A～D）の施策群



### 3 産業振興計画の基本的な考え方

p7 ~ 12

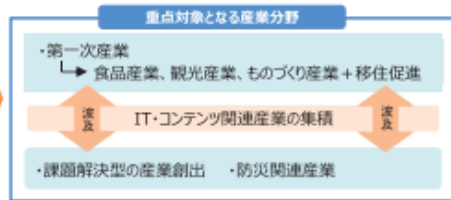
#### ■ 高知県の経済を根本から元気にするためのトータルプランとして「産業振興計画」を策定し、平成21年度からスタート！

#### ■ 目指す将来像 「地産外需が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」

#### I 戦略の柱＝「地産外需」の推進（活力ある県外・海外の市場に高知県産のモノやコトを売ることで、県外・海外から外貨を獲得する）

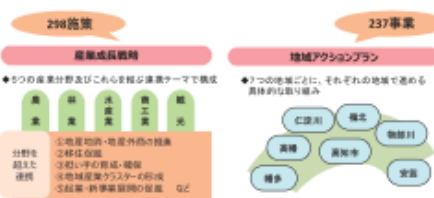
#### II 「地産外需」を推進する上でのポイント

- ① ないものねだりをせず、自らが持てる強みを生かす  
□ 生かすべき高知の強み＝食、自然、歴史、人
- ② 弱みをも強みに転じる（課題先進県だから課題解決先進県へ）  
□ 高知の弱み＝自然災害が多発、中山間地域での課題が多い



#### III 第3期産業振興計画の政策体系

##### ① 構成



##### ② 3つの施策群（8つの基本方向）

- 1 成長に向けた「メインエンジン」をさらに強化！
  - 1 継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組みを意図的に構築
  - 2 交際の範囲のさらなる拡大
- 2 成長の「腿」を乗り越える！
  - 3 担い手の確保策の抜本強化
  - 4 省力化・効率化の徹底に向けたサポートの強化
- 3 成長を支える取り組みを強化！
  - 5 起業や新事業展開の促進
  - 6 地域産業クラスターの形成
  - 7 人材育成・確保の取り組みの充実
  - 8 事業戦略の策定と実行支援の強化

#### IV 産業振興計画の策定・実行に当たっての3つのポイント

- ① 好循環の創出とネットワークの創出
- ② 計画の進捗管理の徹底
- ③ 官民協働、市町村との連携協調

#### V 産業振興計画による中山間地域の活性化

三層構造の政策群により、中山間地域の持続的発展を目指す  
これにより、中山間地域における若者の増加、出生率の向上、本来の強みの伸張を図る



### 4 産業振興計画の取り組みを検証するための数値目標

p13 ~ 14

### 5 これまでの成果（人口減少下においても拡大傾向に転じつつある高知県経済）

p15 ~ 16

#### ■ 各分野で地産外需が大きく前進

(GDP) 高知県地産外需公社の外商支援（成約件数） H21:178件→H30年度:9,620件（約54倍）  
高知県産業振興センターものづくり地産地消・外商センターの外商支援（成約金額）  
H24:2.5億円→H30年度:66.8億円（約27倍）

#### ■ 生産年齢人口の減少に関わらず各種生産額が上昇傾向に

(GDP) 農業産出額 H20:1,026億円 → H29:1,193億円（+16.3%）  
原木生産量 H20:41.8万m3 → H30:64.6万m3（+54.5%）  
県外観光客入込数 H30は過去最高の441万人

#### ■ 高知県経済は今や人口減少下においても拡大する経済へと構造を転じつつある

(GDP) 県内総生産 H20→H28年度 名目+6.3% 実質+3.8%  
[厚労計画前 H13→H20年度 名目△13.7%、実質△7.3%]  
有効求人倍率 H20:0.46倍→H30年度:1.27倍  
1人当たり県民所得 H20:220.8万円→H28年度:256.7万円（+16.3%）

## 令和元年度の取り組み

### 6 目指す将来像の実現に向けた取り組みの方向性と令和元年度の強化のポイント

p17 ~ 24

#### ■ しかし、まだなお残る課題

- ① 主な経済指標の伸びは全国を上回るものの、依然全国の絶対水準を下回る
- ② 完全雇用状態を背景とする人手不足の深刻化は、今や経営上の大きな課題に
- ③ 人口の社会増減の均衡という目標の実現に向けては、まだ道半ば  
H28:△1,770人、H29:△1,605人、H30年度:△2,547人

#### ■ 令和元年度（第3期計画ver.4）の強化のポイント

第3期計画の総仕上げに向け、目標達成に必要な施策を強化するとともに、次のステップを見据え、新たな付加価値を絶えず創造し続けていく仕組みをさらに強化

- 1 「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」を量的・質的に拡大！
- 2 交易の範囲の拡大に向けた海外展開の加速！
- 3 担い手の確保・人材育成策のさらなる強化！
- 4 起業促進とも連動した移住施策の強化！

### 7 産業成長戦略の各分野の取り組み

p25 ~ 56

#### ■ 農業分野、林業分野、水産業分野、商工業分野、観光分野、食品分野、移住促進等

- ① 第3期計画ver.4における各分野の施策の強化の方向性
- ② 各分野の施策の展開
- ③ 各分野の具体的な取り組み

### 8 地域アクションプランの取り組み

p57 ~ 66

#### ■ 令和元年度は7つの地域で237の地域アクションプランを推進！

- ① 地域アクションプランの取り組み
- ② 地域アクションプランの取り組み事例

## <参考資料>

### 9 産業振興計画のこれまでの取り組み事例（H21～H30）

p67 ~ 72

- I 地産外需の加速化
- II 観光の推進
- III 地産の強化と、担い手の育成・確保

### 10 参考資料

p73 ~ 86

### 11 支援策一覧（みんなが主役）

p87 ~ 90

論理的に、説明

現状分析

→数値目標

→予算投入

# 1 人口減少の負のスパイラルに陥った高知県経済（計画策定の背景）

p3

4

## ■ 全国に先駆けて人口減少・高齢化社会に突入した高知県

- ・ 全国より15年先行して平成2年から人口が自然減に
- ・ 働き手となる生産年齢人口の減少も加速
- ・ 高齢化がさらに進行し、特に中山間地域の過疎化が進む

## ■ 人口減少の負のスパイラルのダメージが県経済の様々な面に表れる

- ・ 平成9年～19年にかけて県内市場はどんどん縮小（年間商品販売額が10年間で2割減少。これは生産年齢人口の減少以上の落ち込み）
- ・ 平成14年～20年頃にかけて全国の景気回復の波に乗れず、有効求人倍率などは全国平均等に大きく引き離される状況が続く

# 2 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた高知県の取り組み

p5

6

## ■ 高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略における4つ（A～D）の施策群



人口の増加

（将来展望）  
・ 2060年の人口を約557千人※に踏みとどまらせ、将来的な人口の若返りと人口増への転換を目指す

※国の推計の390万人の約140%に相当

=

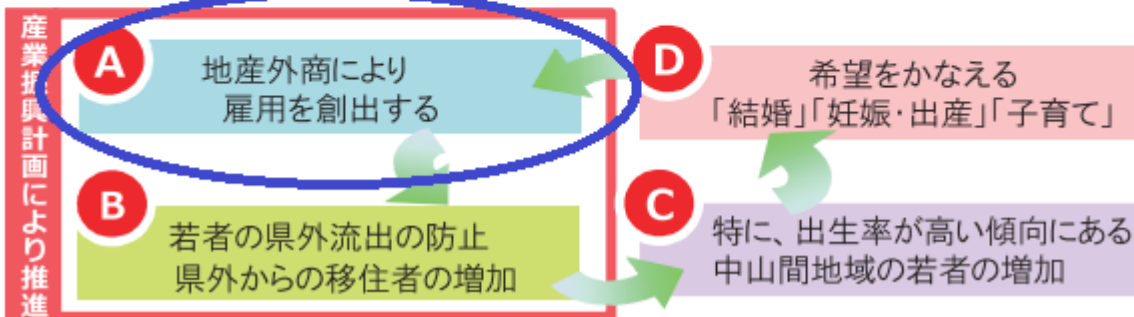
若者の定着・増加

（将来展望）  
2040年：1,000人の社会増

×

出生率の向上

（将来展望）  
2040年：2.07、2050年：2.27



- 高知県の経済を根本から元気にするためのトータルプランとして「産業振興計画」を策定し、平成21年度からスタート！
- 目指す将来像 「地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」

I 戦略の柱 = 「地産外商」の推進 (活力ある県外・海外の市場に高知県産のモノやコトを売ることで、県外・海外から外貨を獲得する)

II 「地産外商」を推進する上でのポイント

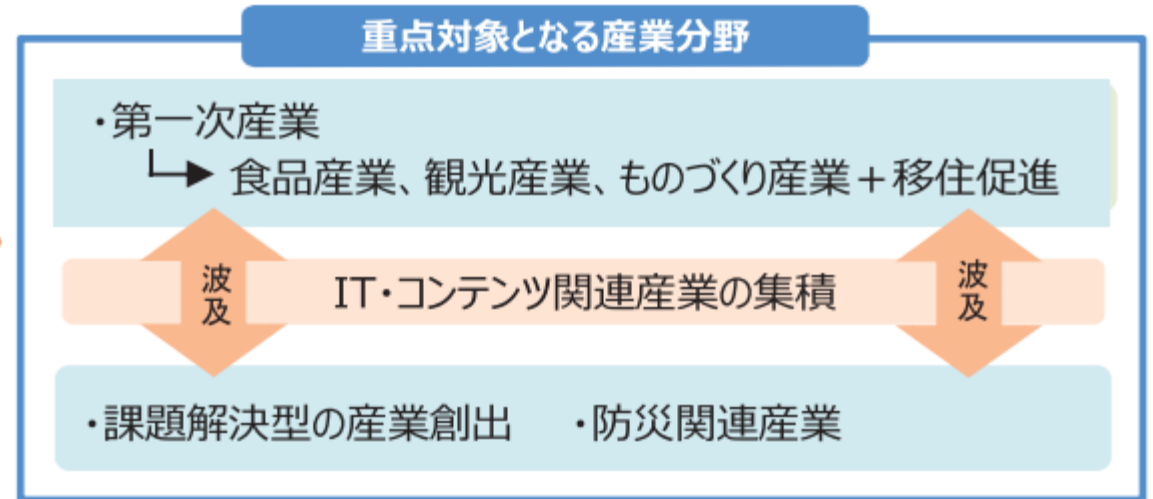
① ないものねだりをせず、自らが持てる強みを生かす

□ 生かすべき高知の強み = 食、自然、歴史、人



② 弱みをも強みに転じる 「課題先進県」だからこそ「課題解決先進県」へ

□ 高知の弱み = 自然災害が多発、中山間地域での課題が多い



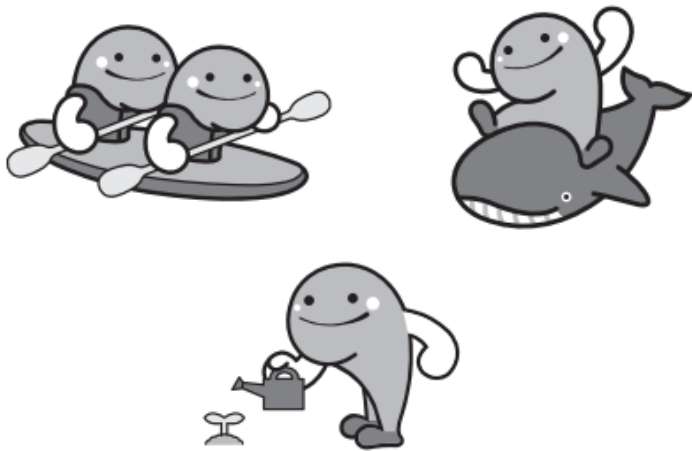




変わろう・変えよう・産業と暮らし  
第3期高知県産業振興計画 ver.4

～ みんなが主役 高知の元気発進プロジェクト ～

《 総論・産業成長戦略 》



平成31年3月  
高知県



ホーム > 組織から探す > 産業振興推進部 > 計画推進課

▶ 計画推進課

産業振興推進部 予算

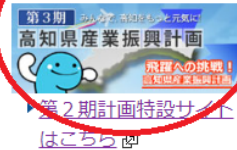
- ▶ [平成31年度当初予算見積の概要 \(PDF\)](#)
- ▶ [平成30年度当初予算見積の概要 \(PDF\)](#)
- ▶ [平成29年度当初予算見積の概要 \(PDF\)](#)
- ▶ [平成28年度当初予算見積の概要 \(PDF\)](#)

まち・ひと・しごと創生総合戦略

- ▶ [高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略](#)
- ▶ [市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略](#)

産業振興計画

第3期計画特設サイト



広報物

トピックス

- ▶ [第3期高知県産業振興計画ver.4 P R版パンフレット](#) (2019年08月15日)
- ▶ [第3期高知県産業振興計画を改定しました!](#) (2019年06月21日)
- ▶ [民間事業者向け「高知県産業振興計画」の支援策活用ガイド\(令和元年度版\)](#) (2019年06月21日)
- ▶ [高知県の推計人口\(令和元年6月1日現在\)に関する知事コメント](#) (2019年06月20日)
- ▶ [高知家地方創生アイデアコンテスト2019](#) (2019年04月22日)
- ▶ [平成31年度 地域支援企画員\(総括\)の紹介](#) (2019年04月17日)
- ▶ [まち・ひと・しごと創生総合戦略のページを更新しました](#) (2019年04月02日)
- ▶ [高知県の人口データ](#) (2019年04月02日)
- ▶ [平成30年度四国地方産業競争力協議会を開催します](#) (2019年03月18日)
- ▶ [高知家地方創生アイデアコンテスト2018結果公表](#) (2019年01月31日)

新着情報

- ▶ [高知県産業振興推進総合支援事業費補助金活用ガイドの一部改訂\(令和元年9月改訂\)](#) (2019年09月30日)
- ▶ [令和元年度第1回高知県産業振興計画フォローアップ委員会](#) (2019年09月20日)
- ▶ [令和元年度第1回地域アクションプランフォローアップ会議\(県内7地域\)](#) (2019年08月26日)
- ▶ [第3期高知県産業振興計画ver.4 P R版パンフレット](#) (2019年08月15日)
- ▶ [平成30年度 地域支援企画員活動報告](#) (2019年08月09日)
- ▶ [幡多地域本部\(黒潮町\)「有限会社土佐質産直出荷組合の取り組み」](#) (2019年08月09日)
- ▶ [四万十ぶしゅかん普及の取り組み ～四万十育ちの『禁断の果実』をブランド化せよ!～](#) (2019年08月09日)

[https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/files/2019061900288/file\\_20196193165019\\_1.pdf](https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120801/files/2019061900288/file_20196193165019_1.pdf)

## 4 第3期計画の基本方向

### ■改革のための8つの基本方向

- 1 成長に向けた「メインエンジン」をさらに強化する
  - ① 継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組みを意図的に構築する
  - ② 取引の範囲のさらなる拡大を図る
- 2 成長の「壁」を乗り越える
  - ③ 担い手の確保策を抜本強化する
  - ④ 省力化・効率化の徹底に向けたサポートを強化する
- 3 成長を支える取り組みを強化する
  - ⑤ 起業や新事業展開を促進する
  - ⑥ 地域産業クラスターを形成する
  - ⑦ 人材育成・確保の取り組みを充実する
  - ⑧ 金融機関等との連携により事業戦略の策定と実行支援を強化する

本県産業をさらに力強いものにしていくためには、ここまで見てきたような「強み」「弱み」「機会(チャンス)」「脅威」とその組み合わせを整理し、さらなる体質強化を図る戦略を導き出すことが重要です。

そのうえで、それらの戦略に沿って、本県が目指すべき姿に向けてのこれまでの取り組みを徹底的に検証し、その対策として欠けていた点、手が届いていなかった点を明らかにして、思い切った対策を講じなければなりません。

第3期計画 ver.4 への改定に際して現下の課題や最新の全国の動向等を分析するとともに、S WOT分析の再点検を行った結果、今後本県が目指すべき基本方向について、別表(SWOT分析と「改革のための8つの基本方向」)のとおり整理しました。

QRコード



# SWOT分析と「改革のための8つの基本方向」



## S Strengths 強み

### 食

- ・全国トップレベルの食
- ・多様な一次産品

### 自然と歴史

- ・日本一の森林率
- ・多様で豊富な自然
- ・多くの偉人を輩出

### 人・技術力

- ・明るい県民性
- ・独自の技術力を持つ地場企業
- ・（これまで築き上げてきた）県外や海外とのつながり
- ・志ある実践者の増加
- ・過去の自然災害から得た防災に関する知識・技術

## W Weaknesses 弱み

### 人口問題

- ・少子化・高齢化の加速
- ・県内経済規模の縮小
- ・担い手の不足
- ・若者の流出
- ・中山間地域の衰退

### 地理的ハンディ

- ・大消費地から遠距離
- ・県内各地に観光スポットが点在

### 経済体質

- ・小規模・零細事業者が多い
- ・製造業分野の産業集積度が低い
- ・食料品出荷額が少ない
- ・体廃業・解散の増加

## O Opportunities 機会

消費者マインド	全国的な社会・経済情勢	国際化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズの多様化</li> <li>・防災意識の高まり</li> <li>・食の安全・安心志向</li> <li>・健康志向</li> <li>・移住への関心の高まり</li> <li>・心の豊かさへの意識の変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進行</li> <li>・IoT・AI等の活用</li> <li>・大学の地域貢献</li> <li>・オリ・パラ東京大会</li> <li>・防災対策の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人観光客の増加</li> <li>・日本食ブーム</li> <li>・貿易の自由化（輸出の促進）</li> </ul>

<p><b>S</b> 多様な一次産品/日本一の森林率/全国トップレベルの食</p> <p><b>→</b> 新技術の導入等により、農畜産物や水産物等の高品質・高収量化（第一次産業の強化）を図り、全国・海外に外商を展開する <b>基本方向 1・2</b></p>	<p><b>O</b> 食の安全・安心志向/IoT・AI等の活用/大学の地域貢献</p>
<p><b>S</b> 全国トップレベルの食/独自の技術力を持つ地場企業/県外や海外との繋がり</p> <p><b>→</b> 豊富な食材や地場産業の技術力を生かして、食品産業、ものづくり産業の高度化を図り、全国・海外に外商を展開する <b>基本方向 1・2</b></p>	<p><b>O</b> 食の安全・安心志向/IoT・AI等の活用/貿易の自由化/日本食ブーム</p>
<p><b>S</b> 全国トップレベルの食/多様で豊富な自然/多くの偉人を輩出</p> <p><b>→</b> 食・自然・歴史の魅力を生かした観光商品をつくり、県外・海外から観光客を呼び込む <b>基本方向 1・2</b></p>	<p><b>O</b> 訪日外国人観光客の増加/オリ・パラ東京大会</p>
<p><b>S</b> 過去の自然災害から得た防災に関する知識・技術/県外や海外との繋がり/多様な一次産品</p> <p><b>→</b> 防災関連産業、IT・コンテンツ関連産業、施設芸芸関連産業などの新たな産業を創出し、付加価値を生み出す <b>基本方向 1</b></p>	<p><b>O</b> 防災意識の高まり/防災対策の強化/IoT・AI等の活用</p>
<p><b>S</b> 全国トップレベルの食/多様で豊富な自然/明るい県民性</p> <p><b>→</b> 若者からリタイアメント層まで多くの方に高知の魅力を感じてもらい移住・定住していただく <b>基本方向 3・7</b></p>	<p><b>O</b> 移住への関心の高まり/全国的な高齢化の進行</p>
<p><b>S</b> 志ある実践者の増加</p> <p><b>→</b> 継続的に新たな挑戦が行われる環境を醸成し、起業・新事業展開を促進する <b>基本方向 5</b></p>	<p><b>O</b> 消費者ニーズの多様化/IoT・AI等の活用</p>

<p><b>W</b> 県内経済規模の縮小/小規模・零細事業者が多い/大消費地から遠距離</p> <p><b>→</b> 外商のハードルを下げる共通のプラットフォームをつくり、県内事業者の挑戦を後押しする <b>基本方向 2</b></p>	<p><b>O</b> 消費者ニーズの多様化/食の安全・安心志向/日本食ブーム/貿易の自由化</p>
<p><b>W</b> 中山間地域の衰退/担い手の不足</p> <p><b>→</b> 地域アクションプランの取り組みを通じて、中山間地域の新たな産業や新たな価値を創出する <b>基本方向 1</b></p>	<p><b>O</b> 大学の地域貢献/食の安全・安心志向</p>
<p><b>W</b> 若者の流出/製造業分野の産業集積度が低い/食料品出荷額が少ない/県内各地域に観光スポットが点在</p> <p><b>→</b> 地域産業クラスター、観光クラスターを形成することにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を地域地域につくる <b>基本方向 6</b></p>	<p><b>O</b> オリ・パラ東京大会/IoT・AI等の活用/消費者ニーズの多様化</p>

# 高知県の強みを生かし、弱みをカバーする取り組みを推進！

## T Threats 脅威

全国的な社会・経済情勢	地域間競争
<ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の自由化（安価な外国産品の流入）</li> <li>・全国的な人手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外製品・資本の流入</li> <li>・地域間競争の激化</li> </ul>

<p><b>S</b> 多様な一次産品/日本一の森林率/全国トップレベルの食/独自の技術力を持つ地場企業/県外や海外との繋がり/多様で豊富な自然/多くの偉人を輩出</p> <p><b>→</b> (第一次産業、食品産業、ものづくり産業、観光等 共通) 他地域との差別化を図ることができる付加価値の高い商品開発を進める <b>基本方向 1</b></p> <p><b>→</b> 人手不足を補い、競争力を高める省力化・効率化の取り組みを促進する <b>基本方向 4</b></p>	<p><b>T</b> 貿易の自由化（安価な外国産品の流入）/県外製品・資本の流入/地域間競争の激化</p> <p><b>T</b> 全国的な人手不足</p>
<p><b>S</b> 県外や海外との繋がり/独自の技術力を持つ地場企業</p> <p><b>→</b> 築き上げてきた国内外とのネットワークを最大限活用し、外商を拡大する <b>基本方向 2</b></p>	<p><b>T</b> 貿易の自由化（安価な外国産品の流入）/地域間競争の激化</p>
<p><b>S</b> 志ある実践者の増加</p> <p><b>→</b> 経営感覚を持ち、自ら考え行動できる人材を育成・確保する <b>基本方向 7</b></p>	<p><b>T</b> 全国的な人手不足/地域間競争の激化</p>
<p><b>W</b> 中小規模・零細事業者が多い/体廃業・解散の増加/担い手の不足</p> <p><b>→</b> 事業の継続・発展に向けて、円滑な事業承継や中核人材の確保を図る <b>基本方向 3</b></p>	<p><b>T</b> 県外製品・資本の流入/全国的な人手不足</p>
<p><b>W</b> 小規模・零細事業者が多い/中山間地域の衰退</p> <p><b>→</b> 競争力の維持・向上に向けて、商品やサービスを常に進化し続ける <b>基本方向 5</b></p>	<p><b>T</b> 県外製品・資本の流入/地域間競争の激化</p>
<p><b>W</b> 担い手の不足/若者の流出/少子化・高齢化の加速</p> <p><b>→</b> 本県産業を支える人材を育成・確保する <b>基本方向 3・7</b></p>	<p><b>T</b> 全国的な人手不足/地域間競争の激化</p>



<p><b>基本方向 1</b></p> <p>継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組みを意図的に構築する</p>
<p><b>基本方向 2</b></p> <p>取引の範囲のさらなる拡大を図る</p>
<p><b>基本方向 3</b></p> <p>担い手の確保策を抜本強化する</p>
<p><b>基本方向 4</b></p> <p>省力化・効率化の徹底に向けたサポートを強化する</p>
<p><b>基本方向 5</b></p> <p>起業や新事業展開を促進する</p>
<p><b>基本方向 6</b></p> <p>地域産業クラスターを形成する</p>
<p><b>基本方向 7</b></p> <p>人材育成・確保の取り組みを充実する</p>
<p><b>基本方向 8</b></p> <p>金融機関等との連携により事業戦略の策定と実行支援を強化する</p>

QRコード





# IV 産業振興計画の策定・実行に当たっての3つのポイント

## 1 好循環の創出とネットワークの創出

①システム全体を考察。好循環の創出に向けて、隘路(ボトルネック)を解消し、牽引役を育成 ⇒ 各産業分野で展開

②ネットワークを意図的につくる、生かす  
⇒ [県内全域への波及] 県内全域をカバーする政策ネットワーク

- 第三層 集落活動センター等
- 第二層 地域アクションプラン
- 第一層 産業成長戦略

⇒ [県外・国外への波及] 民間企業等との官民協働のネットワーク

## 2 計画の進捗管理の徹底

①目標姿勢、数値目標を設定・共有  
②5W1Hを明示、PDCAを点検・検証 ⇒ 施策をより実効性の高いものへと適宜改善  
③政策群ごとに、施策間の有機的な連携(施策のパス回し)を確認

※(PDCAサイクル): 策定した計画(Plan)を実行(Do)し、評価(Check)し、て結びつけ、その結果を次の計画に生かすプロセス

計画の検証等を行う外部組織(委員数約200名)

産業振興計画 各産業分野の団体代表者、学識経験者、市町村の代表者などで組織	フォローアップ委員会 経験者、市町村の代表者などで組織
産業成長戦略 専門部会(5つの専門分野で開催)	地域アクションプラン 地域アクションプランフォローアップ会議(7地域で開催)
フォローアップ委員会委員(関係分野)、各分野の活動調整者などで組織	市町村長、関係団体代表、住民代表などで組織

## 3 官民協働、市町村との連携協調

①多くの皆様に参画いただけるよう、川上から川下までの多様なニーズに対応できる総合的な施策群を用意

民間活力創造型の施策群を大幅に強化(R元)  
「継続的に新たな付加価値創造を促す仕組みの質的・量的拡大」「人材育成・確保の取り組みの強化」等

②県と市町村がベクトルを合わせ、相乗効果を発揮  
⇒県は市町村の取り組みをバックアップ  
県と市町村が一緒に地域アクションプランを推進

237事業

高知県産業振興推進地域本部

- ①地域産業振興監・地域アクションプラン等の総括
- ②地域支援企画員総括・地域支援の総括、集落支援の総括
- ③地域支援企画員・地域本部及び各市町村に駐在

# V 産業振興計画による中山間地域の活性化

## 県勢浮揚には中山間地域の振興が不可欠!

農業や林業といった第一次産業はもとより、観光の面でも貴重な資源を有するなど、中山間地域こそ高知県の強みがあります。中山間地域の振興なくして県勢浮揚はなし得ないものと考えています。

面積人口  
・全34市町村が中山間地域を有する(27市町村は全域)  
・県面積の約93% ・県人口の約39%

出生率  
・四万十町1.68、土佐町1.61、芸西村1.56(高知市1.35)

農業産出額  
・中山間地域が約8割を占める(全国は約4割)

自然、歴史や文化  
・全国に誇れる豊かな自然、歴史や文化の宝庫

## 戦略の方向性

三層構造の政策群により、中山間地これにより、中山間地域における若者の増加、出生率の向上、本来の強みの伸張を図ります。

産業成長戦略(第一層)、地域アクションプラン(第二層)、集落活動センター等(第三層)の間で良き分業

第一層 産業分野毎に基幹となる産業を育成  
第一次産業を中心とした産業成長戦略(298事業)

第二層 成長戦略や地域からの発案を地域で具体化する取り組み  
地域資源を生かした地域アクションプラン(237事業)

第三層 集落機能を支える仕組みづくり  
集落活動センターを核とした集落の維持・再生の仕組みづくり

第一層から第三層までの取り組みにより、あまねく県内をカバー

持続可能な中山間地域の実現

各層の取り組みを連携させ、ステップアップ

## 集落活動センターとは

全52カ所

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、産業、生活、福祉、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み

<集落活動センターの開設状況>

R元、5月末現在 29市町村52カ所で開設

<センターの活動と産業振興計画の取り組みとの連携事例>

大豊町 西峯 (人口187人、世帯数130世帯、高齢化率75.9%)  
原木生産(再造林) × 杉苗生産  
杉苗のコンテナ栽培・販売により、木材の地産地消・地域内循環の取り組みを推進

黒瀬町 越川 (人口259人、世帯数130世帯、高齢化率58.3%)  
スポーツ合宿誘致 × 宿泊・弁当製造  
宿泊事業、体験交流事業など、集落活動センターの拠点施設を活用した観光・交流の取り組みを推進

活動のイメージ

※人口等はH31.4.1現在



① 目指す姿、数値目標を設定

・共有

② 5W1Hを明示、PDCA  
を点検・検証 ⇒ 施策をより実効

サイクル(※)により取り組み状況  
性の高いものへと適宜改善

③ 政策群ごとに、施策間の有

機的な連携(施策のパス回し)を確認

※ (PDCAサイクル) : 策定した計画  
改善(Action)

(Plan)を実行(Do)し、評価(Check)して  
に結びつけ、その結果を次の計画に生かすプロセス

計画の検証等を行う外部

組織 (委員数約200名)

産業振興計画

フォローアップ委員会

各産業分野の団体代表者、学識

経験者、市町村の代表者などで組織

産業成長戦略

地域アクションプラン

専門部会  
(5つの専門分野で開催)

地域アクションプランフォローアップ会議  
(7地域で開催)

フォローアップ委員会委員 (関係分野)、  
各分野の活動実践者などで組織

市町村長、関係団体の長、  
住民代表などで組織

# 4 産業振興計画の取り組みを検証するための数値目標



目指す将来像

地産外高が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

目指す将来像の実現！

戦略 地産外高をさらに強化し、その流れをより力強い「拡大再生産」の好循環へ！



計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルにより、数値目標の到達状況を定期的に点検・検証しています。

目標年次の意味

- ◆4年後目標 (R元年度末)  
第3期計画の終期における達成目標
- ◆6年後目標 (R3年度末)  
第2期計画で設定した10年目標の検証
- ◆10年後目標 (R7年度末)  
第3期計画における中長期的な視点の目標(かありたい値)

若者の県外流出を防止する、県外からの流入を促進する

計画全体を貫く目標 ①

総合戦略に掲げた目標(2040年に年間1,000人の社会増)の達成に向けて、  
■4年後に人口の社会増減(転入数と転出数の差による増減)をゼロにする  
※H28: △1,770人、H29: △1,605人、H30: △2,547人

6年後、10年後：社会増減のプラスを定着させる

若者が志を持って打ち込める魅力ある仕事をにつくる

計画全体を貫く目標 ②

■4年間で4,000人できるものを創出する(定量的に把握できるもの)を創出する(定量的に把握できないもの)の観光振興や地産外高の拡大による雇用創出が見込まれる  
※第1期・第2期計画雇用創出6,139人

6年間：雇用創出 6,000人  
10年間：雇用創出10,000人  
※いずれもH28からの累計

県際間の収支を改善する

計画全体を貫く目標 ③

■産業振興計画の取り組みによる4年後の移輸出額の増加効果をプラス700億円にする  
※H23年 移輸出額 6,743億円  
県際収支(移輸出額-移輸入額) △6,528億円

6年後：プラス1,000億円  
10年後：プラス1,600億円  
※いずれも産業連関表を用いた推計値

県民所得の向上

県民所得については、結果の公表が2年遅れであること、外部要因の影響を大きく受けることから、目標として掲げていませんが、計画の推進によって「県民所得」の着実な伸びを目指します。

◎全国一学びの機会が多い県を目指す

学びの段階から事業化まで実践者のチャレンジ

の多様なサポートにより、ニーズを応援する

◎全国一サポート体制が整った県を目指す

分野	農業分野	林業分野	水産業分野	商工業分野	観光分野	地産地消・地産外高戦略(食品分野)	移住促進
分野の目指す姿	地域で暮らし稼げる農業	山で若者が働く、全国有数の国産材産地	若者が住んで稼げる元気な漁村	拡大再生産による雇用拡大と、地域の賑わいによる活気ある商工業	世界に通用する「本物と出会う高知観光」の実現	素材を生かした加工立県・県産品が全国ブランドに	移住者と一緒に創る元気な地域
目標項目	農業産出額等 農業生産量 <small>(※農産主要11品目)</small>	原木生産量 木材・木製品製造業出荷額等	漁業生産額 <small>(※サンゴ除く)</small> 水産加工出荷額	製造品出荷額等	県外観光客入込数 観光総消費額	食料品製造業出荷額等	県外からの年間移住者
10年後(R7)	1,150億円以上 13.3万t以上	90万㎡以上 256億円以上	490億円以上 220億円以上	7,000億円以上	470万人以上 1,410億円以上	1,085億円以上	3期計画の取り組みによる成果を踏まえて設定
6年後(R3)	1,090億円以上 12.2万t以上	81万㎡以上 232億円以上	476億円以上 203億円以上	6,400億円以上	450万人以上 1,300億円以上	1,035億円以上	1,000組以上
4年後(R元)	1,060億円以上 11.6万t以上	78万㎡以上 220億円以上	460億円以上 200億円以上	6,000億円以上	435万人以上 1,230億円以上	1,000億円以上	934組(H30)
直近値	1,201億円(H29) 9.2万t(H30)	64.6万㎡(H30) 215億円(H29)	470億円(H29) 199億円(H28)	5,800億円(H29) 電子部品除く5,550億円	441万人(H30) 1,104億円(H30)	1,089億円(H29)	120組(H23+)
産業振興計画前	1,026億円(H20) 10.8万t(H20)	41.8万㎡(H20) 195億円(H20)	446億円(H25+)	5,870億円(H20) 電子部品除く5,057億円	305万人(H20) 777億円(H20)	910億円(H20)	



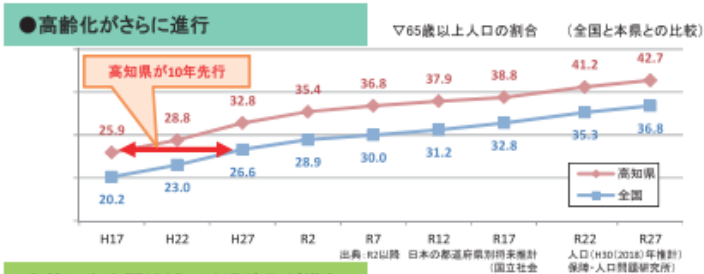
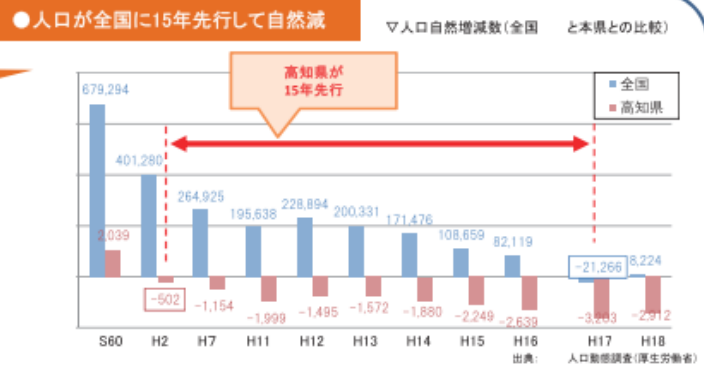
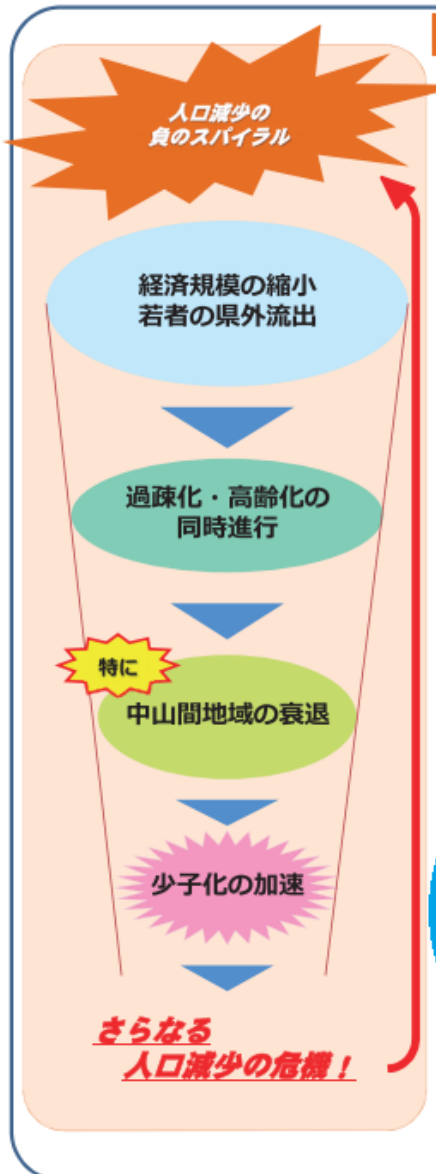
全国に先駆けて人口減少・高齢化社会に突入した高知県



高知県では、全国より15年先行して平成2年から人口が自然減の状態に陥り、人口減少による経済の縮みが若者の県外流出と特に中山間地域の衰退を招き、さらに経済が縮むことで県民の暮らしが一層苦しくなるという「人口減少の負のスパイラル」を

たどってきました。

「人口減少の負のスパイラル」のダメージが県経済の様々な面に表れる

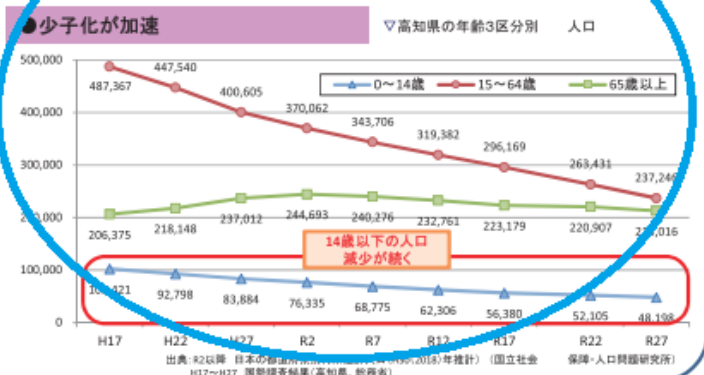


●特に中山間地域では過疎化が進む

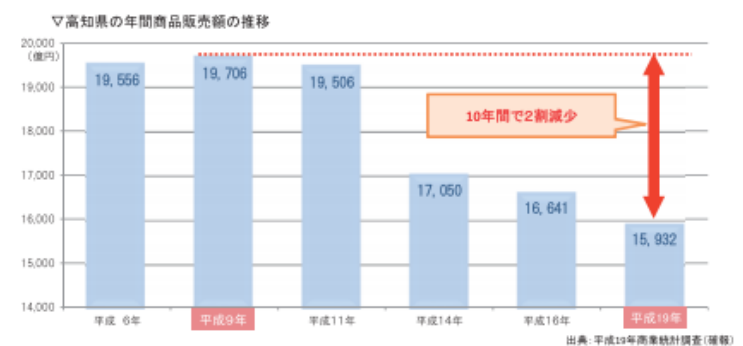
▽県全体と県内中山間地域の人口の推移(昭和35年と平成27年の比較)

	S35	H27	S35→H27減少率
高知県全体	854,595人	728,276人	14.8%減
中山間地域	537,327人	285,379人	46.9%減

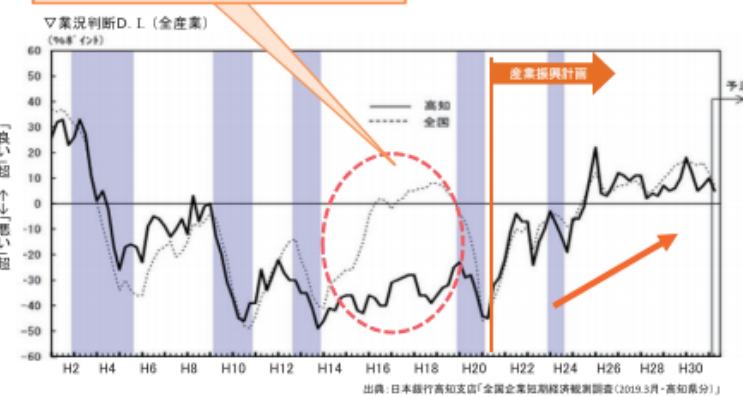
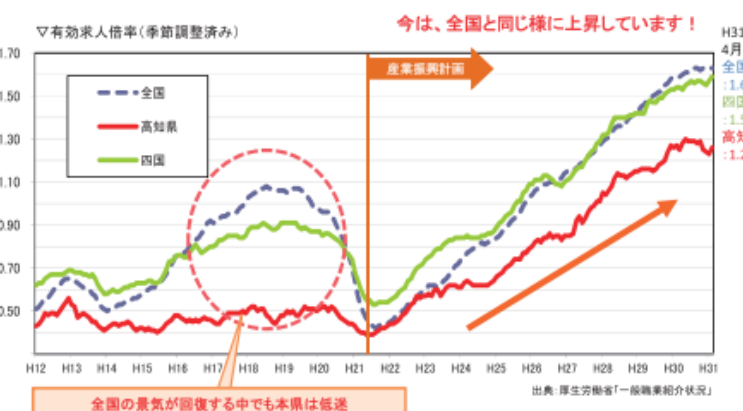
出典: 平成27年国勢調査結果(高知県、総務省)



●平成9年からの10年間で本県の経済規模は大幅に縮小



●かつて、景気の回復の波に乗れず全国平均等に大きく引き離される状況が続いた





## ●特に中山間地域では過疎化が進む

出典：R2以降 日本の都道府県別将来推計人口（国立社会  
H17～H27 国勢調査結果（高知県、

人口（H30（2018）年推計）  
保障・人口問題研究所）  
総務省）

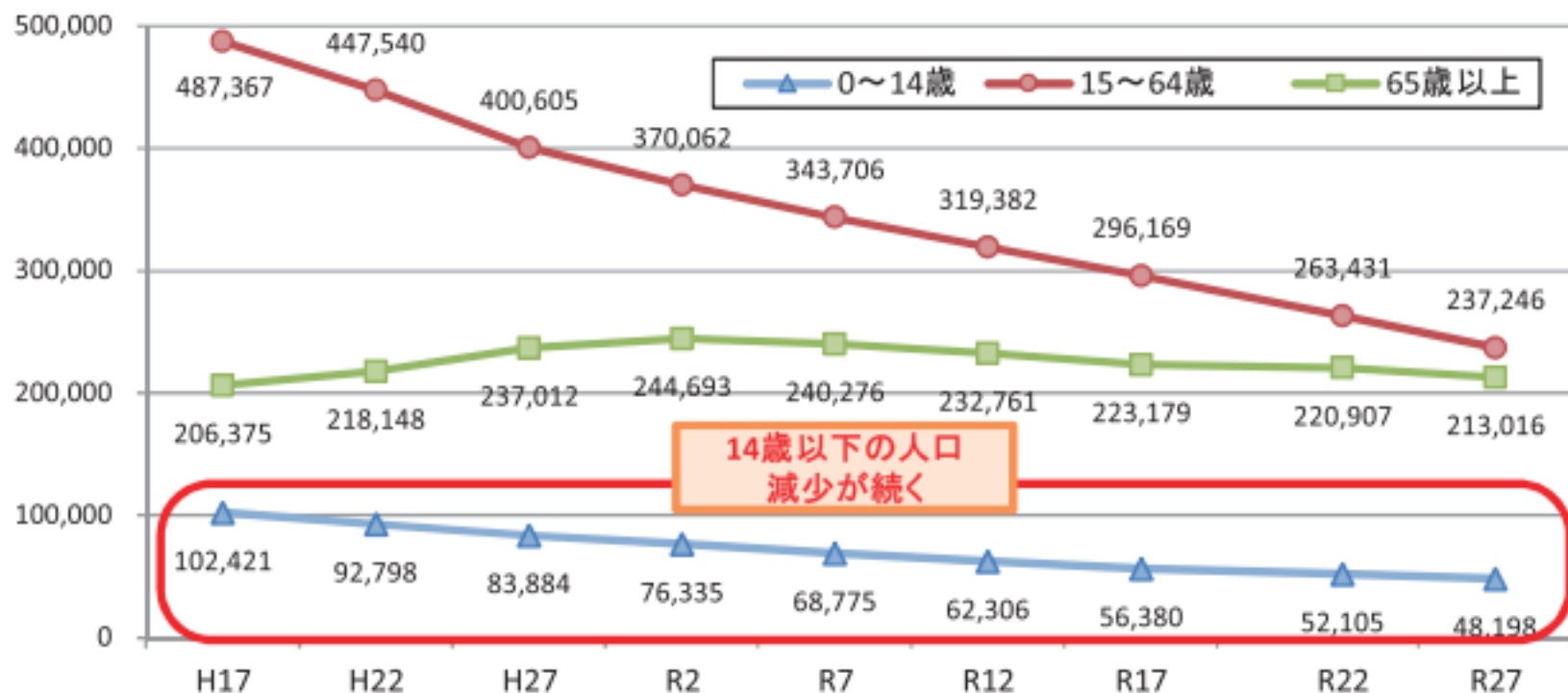
▽県全体と県内中山間地域の人口の推移（昭和35年と平成27年の比較）

	S35	H27	S35→H27減少率
高知県全体	854,595人	728,276人	14.8%減
中山間地域	537,327人	285,379人	46.9%減

出典：平成28年  
高知県集落調査

## ●少子化が加速

▽高知県の年齢3区分別 人口



出典：R2以降 日本の都道府県別将来推計人口（H30（2018）年推計）（国立社会  
H17～H27 国勢調査結果（高知県、総務省）

保障・人口問題研究所）

## 2 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた高知県の取り組み



人口減少の負のスパイラルを克服することが県政に於ける最大の課題です。この克服に向け、「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、2060年の本県の人口を約55万7千人に踏みとどまらせ、将来的な人口の若返りと人口増への転換を目指すという「高知県人口の将来展望」を掲げて取り組みを全力で進めています。

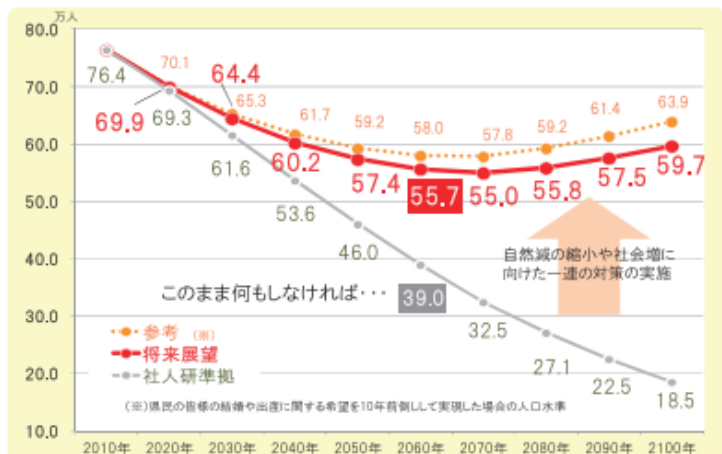
### 《将来展望》

2060年：約55.7万人

※国の推計の39万人の約140%に相当

[現状(2015年):72.8万人]

○人口構造が若返る  
年少人口割合は2020年から、  
生産年齢人口割合は2045年から  
上昇に転じる



### 若者の定着・増加

《将来展望》2040年：1,000人の社会増  
[現状(2018年度)：2,547人の社会減]

### 出生率の向上

《将来展望》2040年：2.07、2050年：2.27  
[現状(2018年)：1.48]

出典：平成30年人口動態統計月報年計（概数）

**A** 地産外商により  
雇用を創出する

**D** 希望をかなえる  
「結婚」「妊娠・出産」「子育て」

**B** 若者の県外流出の防止  
県外からの移住者の増加

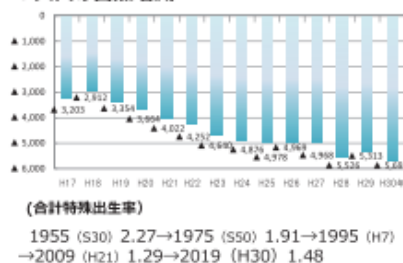
**C** 特に、出生率が高い傾向にある  
中山間地域の若者の増加

[出生率] 人口動態調査・市区町村別統計（平成20年～24年）  
高知市：1.35  
中山間地域：四万十町1.68、土佐町1.61  
津野町1.60、芸西村1.56

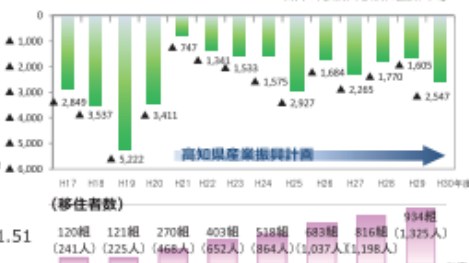
### ▽高知県の人口ピラミッド（2015年（平成27年）） 総人口728,276人



### ▽人口の自然増減



### ▽人口の社会増減



### 高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略＜平成31年度版＞の構造

産業振興計画により推進

**基本 目標1** 地産外商により  
安定した雇用を創出する

**A**

- 成長に向けた「メインエンジン」をさらに強化する
- 成長の「壁」を乗り越える
- 成長を支える取り組みを強化する

**数値目標**

- 雇用の創出 H28～R元：4,000人
- 各産業分野における産出額等の増加

[これまでの成果]  
雇用保険被保険者数 | H20:178千人→H30:197千人(+19千人)

**基本目標3** 若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

**D**

- ライフステージの各段階に応じた取り組みのさらなる推進
- 官民協働による少子化対策を県民運動として展開
- 女性の活躍の場の拡大

**数値目標**

- 令和元年の合計特殊出生率 1.61

[これまでの成果] H20:1.36→H30:1.48

**基本 目標2** 新しい人の流れをつくる

**B**

- 県内高校生等の県内就職の促進
- 移住の促進
- 人材の誘致

**数値目標**

- 令和元年度に人口の社会増減をゼロにする

[これまでの成果]  
社会増減 | H16～20:▲3,396人/年、H21～25:▲1,625人/年  
H26～30:▲1,974人/年  
移住者数 | H23:120組(241人)→H30:934組(1,325人)

**基本目標4** コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る

**C**

- 中山間地域での小さな拠点（集落活動センター、あつたかふれあいセンター）の整備促進
- コンパクトな中心部と小さな拠点を衛星としたネットワークの形成

**数値目標**

- 令和元年度末の集落活動センターの開設数 80箇所 など

[これまでの成果] R元5月現在:29箇所(約52%)



## 物部川地域の主な取り組みと成果 (H30)

「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 【南国市】


### ごめんケンカシャモ

<企業組合ごめんシャモ研究会 等>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントへの出店(21回)</li> <li>阪神百貨店ギフトカタログでの「シャモ鍋セット」販売</li> <li>直営飲食店「軍鶏伝」営業強化</li> <li>十市小学校と連携した新メニュー開発及び地元レストランでのメニュー化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商談会出席等による販路開拓</li> <li>生産管理の徹底及び飼育技術の向上による安定的な供給</li> </ul>

**主な成果**

- 売上高 39,258千円(H27) → 51,780千円(H30)



龍河洞エリア活性化推進プロジェクト 【香美市】


### 龍河洞

<龍河洞エリア活性化協議会 等>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客受入態勢の充実(看板設置・接客向上のための取組)</li> <li>龍河洞エリア動線・景観計画策定</li> <li>イベントの開催 「龍の洞窟の歴史を変える。」(10,035人) 「Colorful Summer Adventure」(24,351人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R元夏のリニューアルオープンに向けた整備の推進</li> </ul>

**主な成果**

- 観光客入込数 95,565人(H30.1~12月)



高知県産の食材を活用したクラフトビールの製造・販売 【香美市】

### クラフトビール

<(同)高知カンパニョールフリー>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>クラフトビール醸造所の開業(H30.4月)</li> <li>酒類醸造講習(ビール)の受講</li> <li>県内外での販売促進活動</li> <li>新商品の開発(2品)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質管理システム導入及び県版HACCP認証取得</li> <li>地域外飲食店との連携及び積極的な販路開拓</li> </ul>

**主な成果**

- クラフトビール売上高 19,852千円(H30.6~H31.3月末)
- ジャパン・グレートビア・アワード 2019金賞受賞
- 第33回高知県産地産物大賞奨励賞受賞



地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興 【香美市】

### 土佐打刃物

<高知県土佐打刃物連合共同組合 等>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>土佐打刃物職人育成機関「鍛冶屋創生塾」基本計画及び研修棟基本設計の策定</li> <li>土佐打刃物の振興に向けた後継者育成の仕組みづくり及び組織体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R元11月の「鍛冶屋創生塾」開校に向けた準備</li> </ul>

**主な成果**

- 「鍛冶屋創生塾」の組織体制及び運営方針の策定



ヤ・シィパークを核とした地域の活性化推進プロジェクト 【香南市】


### ヤ・シィパーク

<同ヤ・シィ、香南市>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>高島屋お中元ギフトでの加工所兼店舗(mana*mana)のアイスバー販売</li> <li>グランピングのテストマーケティング実施(2回)</li> <li>ヤ・シィパーク整備計画(グランドデザイン)の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>mana*manaの販路拡大及び広報強化</li> <li>ヤ・シィパークの拠点化に向けた具体的な取り組みの強化</li> </ul>

**主な成果**

- 加工所兼店舗の売上高 16,356千円(H29) → 26,868千円(H30)



ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地活性化プロジェクト 【南国市】


### ものづくり

<南国市商工会 等>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済活性化に向けた計画づくりと推進体制の強化</li> <li>ものづくりサポートセンター基本設計の策定</li> <li>啓発イベントの開催「NANKOKUまけまけマーケット」「ナンコクフェスティバル」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりサポートセンター完成に向けた関係機関との協議</li> <li>商店街等の連携による仕組みづくり</li> </ul>

**主な成果**

- 南国市地域経済活性化計画の策定



地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進 【香南市・南国市】


### ワイン

<井上ワイナリー(株)、井上石灰工業(株)>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイン用葡萄園場の拡大</li> <li>醸造技術習得研修の実施</li> <li>PR動画の制作及び広報</li> <li>醸造施設基本設計の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園場拡大と葡萄の栽培から出荷までの一貫した生産体制の構築</li> <li>ワイン醸造技術の習得に向けた人材育成</li> <li>各種イベント開催や広報充実による知名度向上</li> </ul>

**主な成果**

- ワインの売上高 0円(H28) → 11,092千円(H30)



## 安芸地域の主な取り組みと成果 (H30)

岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 【安芸市】


### 伊尾木洞・内原野陶芸館

<安芸市、(一社)安芸市観光協会、内原野陶芸館 等>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>伊尾木洞の観光客受入態勢の充実(観光案内所等の整備、ガイド研修の実施)</li> <li>内原野陶芸館への小型電気窯設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験者、来場者の満足度向上</li> <li>入込客数増加のためのPR強化</li> </ul>

**主な成果**

- 市内年間観光客数 263,027人(H28) → 277,426人(H30)
- 伊尾木洞ガイド利用者数 2,005人(H28) → 4,055人(H30)



キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外販の拡大 【室戸市】


### キラメッセ室戸「楽市」

<室戸市、協同キラメッセ室戸(有)>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>農業複合経営拠点活動の推進</li> <li>新商品の開発・販売拡大</li> <li>県外向けの外販強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の6次産業化の推進</li> <li>販路拡大と集荷体制の強化</li> <li>売上増に向けた直販所の改修</li> </ul>

**主な成果**

- 売上高 382,686千円(H29) → 409,969千円(H30)



地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大 【奈半利町】


### イチジク、金目鯛等の加工品

<奈半利町、NCL48、漁協女性グループ、(一社)なはりの郷>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>加工施設(奈半利のおかって、加賀郷魚会(なや))での商品開発、弁当・惣菜・加工品等の店舗販売</li> <li>イベント出店等による販促活動</li> <li>イチジクの栽培</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税返礼品等の需要に対応するための生産体制の強化、後継者の育成</li> <li>商談会を活用した販路開拓</li> <li>奈半利町通販サイトを活用した販路の拡大</li> </ul>

**主な成果**

- 加工施設売上高 58,209千円(H29) → 64,912千円(H30)




ユズを中心とした中山間振興 【室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村】

### ユズ


<JA高知県(安芸地区)、JA馬路村>

取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>JA高知県(安芸地区) &gt; 青果の生産拡大と果実品質向上のための新種・改種の推進</li> <li>EU向け輸出青果の腐敗対策として、早期収穫とクールチェーンの実施</li> <li>北川村4地区でユズ園地集約のための農地整備事業を開始</li> <li>JA馬路村 &gt; インターネットを利用したマーケティング広告の試行(H30)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JA高知県(安芸地区) &gt; 青果出荷受入量 343t(H29) → 485t(H30)</li> <li>加工仕向け受入量 4,142t(H29) → 4,793t(H30)</li> <li>JA馬路村 &gt; 高知市内アンテナ店売上高 4,770万円(H29) → 6,240万円(H30)</li> <li>JA高知県(安芸地区)、JA馬路村 &gt; 安定生産に向けた新種・改種の推進</li> <li>ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</li> </ul>



道の駅「田野駅屋」<田野町、田野駅屋> 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組 【田野町】

取り組みの内容	主な成果	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>新商品の開発、販売強化</li> <li>イベント開催、出店等による販売促進活動</li> <li>観光情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入込客数 274千人(H29) → 278千人(H30)</li> <li>店舗売上高 267,701千円(H29) → 271,819千円(H30)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅の機能強化に向けた法人体制の確立</li> <li>生産者の確保及び商品の充実</li> <li>情報発信機能の強化</li> </ul>




室戸市の観光 <室戸ジオパーク推進協議会、NPO法人日本ウミガメ協議会 等> 室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興 【室戸市】

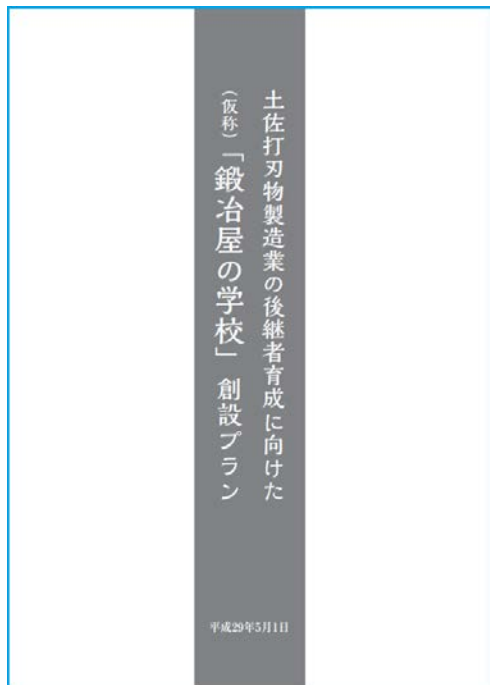
取り組みの内容	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>ジオツアーリズムによる交流人口の拡大、地域振興</li> <li>むろと廃校水族館オープン(H30.4月)</li> <li>誘客に向けたイベント・企画展の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライダーズインのリニューアルに合わせた周遊・滞在型観光の強化</li> <li>むろと廃校水族館の機能強化</li> <li>ユネスコ世界ジオパーク審査(再認定)への対応</li> <li>室戸市観光の情報発信性、営業力の強化</li> </ul>

**主な成果**

- 室戸世界ジオパークセンター入館者数 73,811人(H29) → 87,318人(H30)
- 日本ジオパーク再認定
- むろと廃校水族館来館者数 168,333人(H30)







計画を作って、地域アクションプランに書き込んでもらう。



## 地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興 【香美市】

### 土佐打刃物

＜高知県土佐打刃物連合共同組合 等＞

#### 取り組みの内容

- ・土佐打刃物職人育成機関「鍛冶屋創生塾」基本計画及び研修棟基本設計の策定
- ・土佐打刃物の振興に向けた後継者育成の仕組みづくり及び組織体制の確立

#### 今後の方向性

- ・R元.11月の「鍛冶屋創生塾」開校に向けた準備

#### 主な成果

- ・「鍛冶屋創生塾」の組織体制及び運営方針の策定



「土佐物製造業の後継者育成に向けた鍛冶屋の学校創設プラン」



11月5日開塾

